AJA Developerプログラム

AJA

AJA Developer プログラム

AJA の技術は、多くの高性能な製品の中核を担っています。非常に高いクオリティと分かりやすい開発キットにより、AJA の Developer 製品は Windows、Mac、Linux のいずれにも簡単に統合できるようになっています。

Developer パートナー

AJA の Developer プログラムでは、パートナー企業が AJA 製品を自社システムに導入することが可能です。実績のあるビデオ I/O デバイスを使用することで、Developer パートナーは、AJA の専門知識を活用してこれらの技術の開発支援を行い、この技術を統合した製品を低コストでより早く市場に投入することが可能になります。

AJA には、ビデオ業界向けに高品質で信頼性の高いビデオデバイスを長期間提供してきた実績があります。AJA の Developer プログラムに加入することにより、パートナーは自社の製品に統合して提供することが可能になります。

開発には多くの AJA の市販製品を使用できます。これにより、充実したミニコンバーター製品ラインの 1 つを使用して構築済みパッケージに変換技術を組み込むことや、KONA ビデオ I/O カードをカスタムセットアップに統合するなど、AJA のすべてのパワーとクオリティを活用することができます。

具体的な統合製品の例として、Corvid 製品ファミリーがあります。市販されているカードと同じ技術が採用されていますが、フォームファクターを変更することによって用途に応じて柔軟にカスタマイズ可能になっています。

Developer 製品には、シングルチャンネル I/O、複数同時 I/O ストリーム、光ファイバーの直接統合、高帯域アプリケーションなどの機能をはじめ、あらゆるニーズと価格帯に合わせた製品があります。

AJA の総合SDK と開発ツールは、Windows®、OS X、Linux® いずれの環境にも簡単に統合することができます。また Developer パートナーは、AJA の技術サポートチームに直接アクセスすることができ、その迅速で効果的な対応は業界でも高い評価を得ています。

AJA Developer プログラム

製品概要

KONA IP

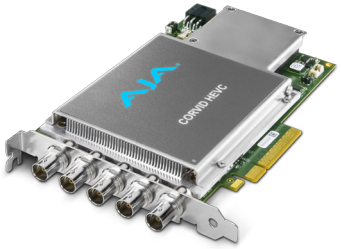
1080p 50/60fps までの非圧縮ビデオに対応する 10 GigE のIP ワークフロー用、8 レーンの PCIe 2.0 I/O パイプライン

Corvid HB-R

4K/60p までの HDBaseT ビデオ統合、8 チャンネルエンベデッドオーディオ、電源、RS-232 制御、HDMI 出力を装備した 4 レーンの PCIe 2.0 カード

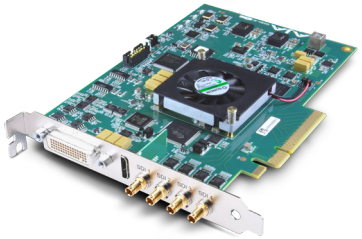
Corvid HEVC

4K/マルチチャンネル、最高 4K 60p のビデオ入力 (ファイルからファイルへのエンコーディングと同様) に対応する、8 レーン PCIe 2.0 HEVC エンコーディングカード



KONA 4

4K 50/60p まで対応する強力な高フレームレート処理能力と、編集、グラフィック、ライブストリーミング用ソフトウェアを統合



Corvid 88

8/10-bit YCbCr または 12-bit RGB と、同時 4K 入出力または独立した混合 8 チャンネルの I/O に対応する、8 レーンの PCIe 2.0 カード

新しいファンレス Corvid 88

Corvid 44 & 44 BNC

8/10-bit YCbCr または 12-bit RGB と、独立した混合 4 チャンネルの I/O またはシングル 4K 入出力に対応する、8 レーンの PCIe 2.0 カード

新しいファンレス Corvid 44

Corvid 24

4 レーンの PCIe 2.0 8/10-bit (シングル) 4K または独立* 4 チャンネルの I/O デジタル 3G-SDI I/O

Corvid 22

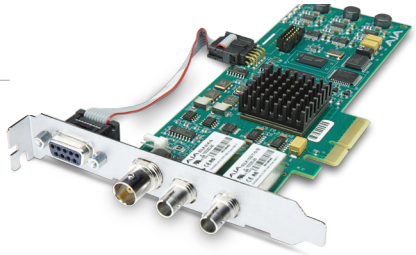
8/10-bit 非圧縮ビデオと独立 2 チャンネルの I/O デジタル 3G-SDI I/O に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード

AJA Developer プログラム

製品概要

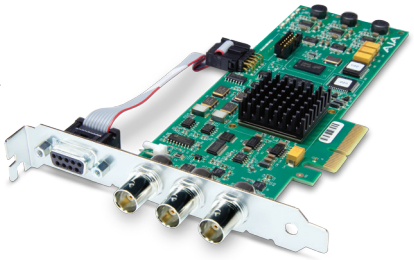
Corvid 3G Fiber

Fiber I/O 経由の 8/10-bit 非圧縮デジタル 3G-SDI に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード



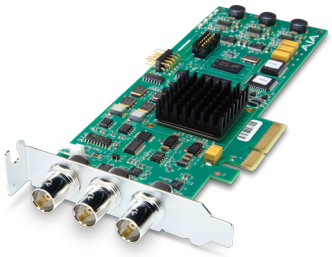
Corvid 3G

8/10-bit 非圧縮デジタル 3G、HD、SD の I/O に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード



Corvid

8/10-bit 非圧縮デジタル SD、HD の I/O に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード



Corvid Ultra

4K、ステレオスコピック、高フレームレート、その他の高帯域用途に対応する PCIe 2.0 対応外部 2RU シャーシ

Io 4K

Thunderbolt™ 2 のパワーを活かした 4K、HD、SD の I/O 処理

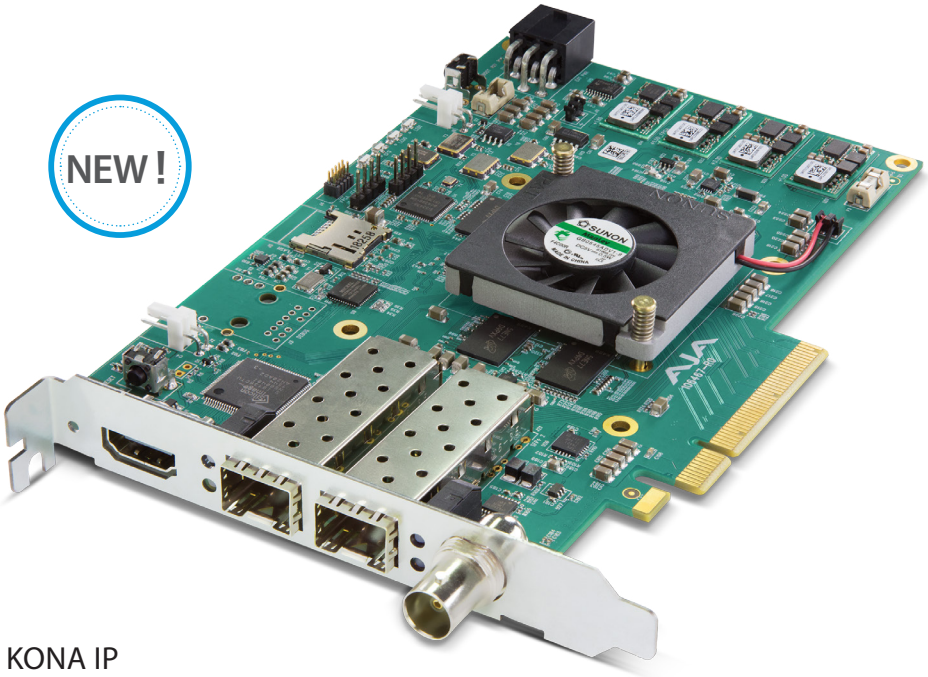
Io XT

プロフェッショナルな I/O に対応する Thunderbolt™ パワー

AJA Developer プログラム

KONA IP

10 GigE の IP パイプラインに対応するシンプルで互換性があるマルチチャンネル I/O



KONA IP

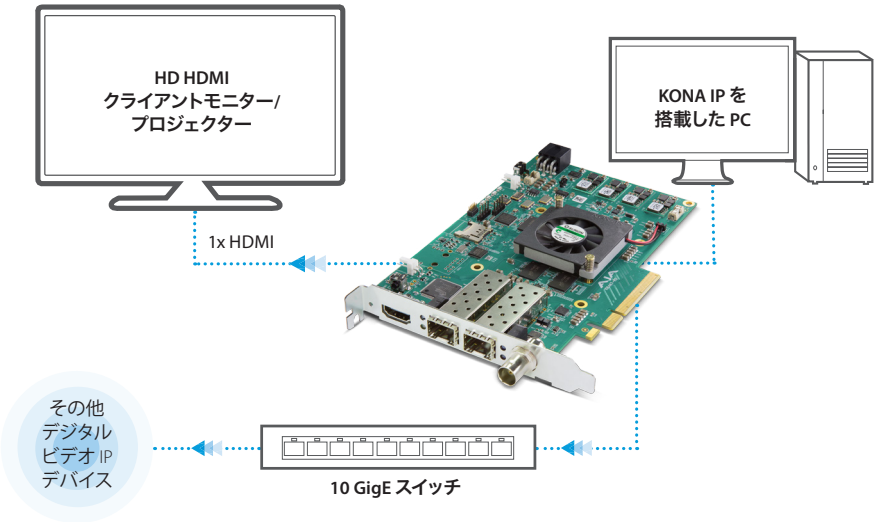
KONA IP は、簡単でフレキシブルな IP 接続を可能にするパワフルな 8 レーンの PCIe 2.0 I/O カードです。2 つの SFP ケージにより、10 GigE までの IP ネットワークを経由して、ビデオとオーディオの簡単なルーティング用のマルチチャンネル HD に対応します。KONA IP は、今日の SMPTE 2022-6 非圧縮 IP ビデオに対応する柔軟なプラットフォームとして設計され、最高 50/60 fps で非圧縮 3Gbps 1080p に対応します。将来的なファームウェアアップデートやコーデックパッケージを通じて、SDI で使用してきたすべてのビデオを効果的に接続することが可能となり、圧縮コーデックや高度な IP プロトコルにも対応可能になります。

HDMI 出力は、常にローカルでプロジェクトをモニタリングすることを可能にし、NLE、コンポジット、ストリーミングの用途においては KONA IP がバックグラウンドで透過的に機能するため、IP への移行も非常にシンプルになります。

販売業者情報

機能概要

- 3Gbps 50/60 fps までの非圧縮 HD インジェストと出力に対応
- マルチチャンネル入出力用の 10 GigE SFP 接続 x 2
- IP 経由の転送に使用する SMPTE2022-6 ビデオ/オーディオに対応
- AJA の開発者用 SDK を通じて Mac、Windows、Linux に対応
- 16 チャンネルの 48 kHz 24-bit エンベデッドオーディオ
- 8 チャンネルのオーディオを搭載したローカルモニタリング向けの HDMI 1.4 出力
- グラフィックやフレームバッファのキーに対応するダウンストリームキーヤー
- デスクトップ用の 8 レーンの PCIe 2.0 I/O カード
- 444 と 422 のワークフローに対応
- リファレンス/LTC 入力



KONA IP 技術仕様

ビデオフォーマット

- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080i 25, 29.97
- (HD) 720P 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

メディアトランスポートインターフェース (2022-6 用)

- SFP+ ケージ x 2 - SFP は別売
- 推奨される SFP モジュール: Finisar FTLX1471D3BCL と Avago AFBR-709SMZ

デジタルビデオ出力

- HDMI v1.4
  - 30/36-bit/ピクセル、RGB/YUV、2.25 Gbps
  - 60p 4:2:0 8-bit までの HFR の UltraHD に対応
- 2K/HD/SD

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ、各チャンネル 24-bit、48 kHz での同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ、各チャンネル 24-bit、48 kHz のサンプルレート、同期
- 8 チャンネル、HDMI エンベデッドオーディオ、48kHz のサンプルレート、同期

ダウンストリームキーヤー

- アルファチャンネル付き画像をビデオ/マット/フレームバッファに合成、またはフレームバッファのコンテンツを、入力信号 (ビデオやマット) に合成

リファレンスと LTC I/O

- BNC x 1 (リファレンスビデオまたは LTC 入力に割り当て可能)

リファレンス

- アナログブラックバースト (1V) またはコンポジットシンク (2V/4V)
- ターミネート不要

ユーザーインターフェース

- 8 レーンの PCIe 2.0 カード

サイズ (w x d x h)

- 19.05mm x 209.55mm x 127mm (0.75" x 8.25" x 5")

重量

- 0.4kg (0.7lb)

電源

- 25 W (通常)、27 W (最大)

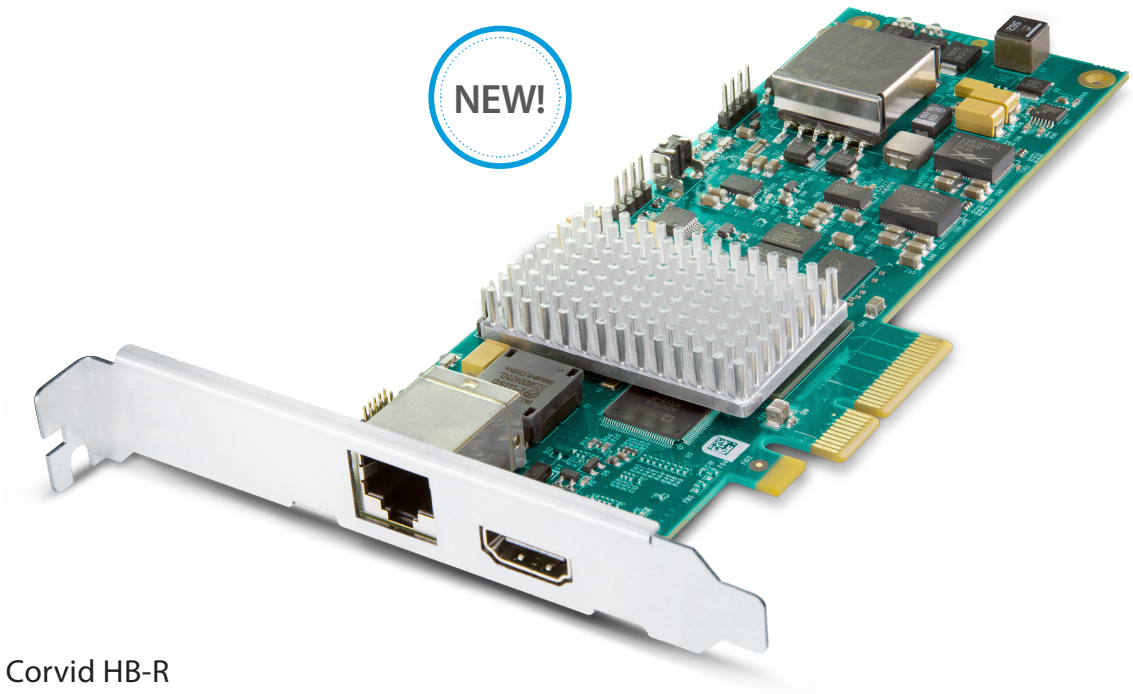
使用環境条件

- 安全動作温度範囲: 0 °C ～ 40 °C (32 °F ～ 104 °F)
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細は、www.aja.com/en/products/kona-ip#techspecs をご覧ください。

Corvid HB-R

UltraHD/HD/SD ビデオ、オーディオ、電源、RS-232 コントロールを HDBaseT に統合する、4 レーンの PCIe 2.0カード



Corvid HB-R

HDBaseT と Corvid HB-R の組み合わせによって用途→アプリケーションの範囲が拡大します。Cat 5e/6 ケーブルを入力として使用し、4K/60p までのビデオ (8-bit 4:2:0) と 8 チャンネルのエンベデッドオーディオに対応します。

また、10W までの双方向 VISCA/RS-232 コントロールと電源を供給し、HDBaseT 入力で受信したシグナルをフルタイムループの HDMI 1.4b で出力します。

これらの機能により、Corvid HB-R は、AJA の RovoCam、UltraHD HDBaseT カメラに最適なデスクトップ/サーバ用アドオンとなります。

機能概要

- HDBaseT レシーバー
- 1 本の Cat 5e/6 ケーブルで、ビデオ、オーディオ、RS-232、電源を伝送
- 最高 4K/60p 8-bit 4:2:0 のビデオに対応
- 8 チャンネルの HDMI エンベデッドオーディオ I/O
- HDMI 1.4b のフルタイムループ出力
- RovoCam で使用する場合は、2 チャンネルのディスクリートマイクオーディオに対応
- HDBaseT 経由の双方向 VISCA/RS-232 制御
- HDBaseT 経由で最大 10W の電源を供給
- 4 レーンのロープロファイル PCIe 2.0 カード
- Linux V4L2 ドライバに対応
- 3 年保証

Corvid HB-R 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (4K) 4096 x 2160p 50, 59.94, 60 (8-bit 4:2:0)
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (UltraHD) 3840 x 2160p 50, 59.94, 60 (8-bit 4:2:0)
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (2K) 2048 x 1080p 50, 59.94, 60
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 50, 59.94, 60
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080i 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 525i 29.97
- (SD) 625i 25

デジタルビデオ入力

- HDBaseT 経由の HDMI v1.4b
  - HDBaseT 経由のビデオ
  - 24/30/36 bits/ピクセル、RGB/YUV
  - 最高 300 MHz のピクセルクロック
  - レーンあたり最大 3.4 Gb の TMDS データレートにより、合計 10.2 Gbps の総帯域を確保
  - UltraHD/2K/HD/SD
  - HDCP 暗号化ビデオはには非対応

デジタルビデオ出力

- HDMI 1.4b 出力
- HDBaseT 入力で受信した HDMI をアクティブループ出力
- EDID インターフェース無し
- HDCP 暗号化ビデオはには非対応
- CORVID-HB-R HDMI レシーバー入力でネゴシエートされたビデオ出力の電子コピー

デジタルオーディオ入力

- HDBaseT 経由のオーディオ
  - 8 チャンネルのエンベデッドオーディオ
  - 2 チャンネルの RovoCam 専用マイクオーディオ

デジタルオーディオ出力

- 8 チャンネルの HDMI エンベデッドオーディオ (48 kHz 24-bit)

電源

- HDBase 経由の電源供給
  - IEEE 802.3AF インターフェース経由で最高出力 10W まで対応

RS-232

- HDBaseT 経由のシリアルポート
  - VISCA カメラ制御を目的とした 115200 ボーのインターフェース

USB

- HDBase 経由の USB
  - カメラのファームウェアアップデートに使用する USB ホスト

インターフェース

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード

サイズ (w x d x h)

- PCIe カード電気機械仕様 Rev 1.0A のロープロファイルのアドインカード規格に準拠
- ブラケット無し: 170mm x 69mm x 18mm (6.7" x 2.7" x 0.7")
  ブラケットは標準フルハイトの PCIe カードサイズ

電源

- 10-20V、カードのみの場合は通常 10W、RovoCam 作動時は通常16W、最大 18W

使用環境条件

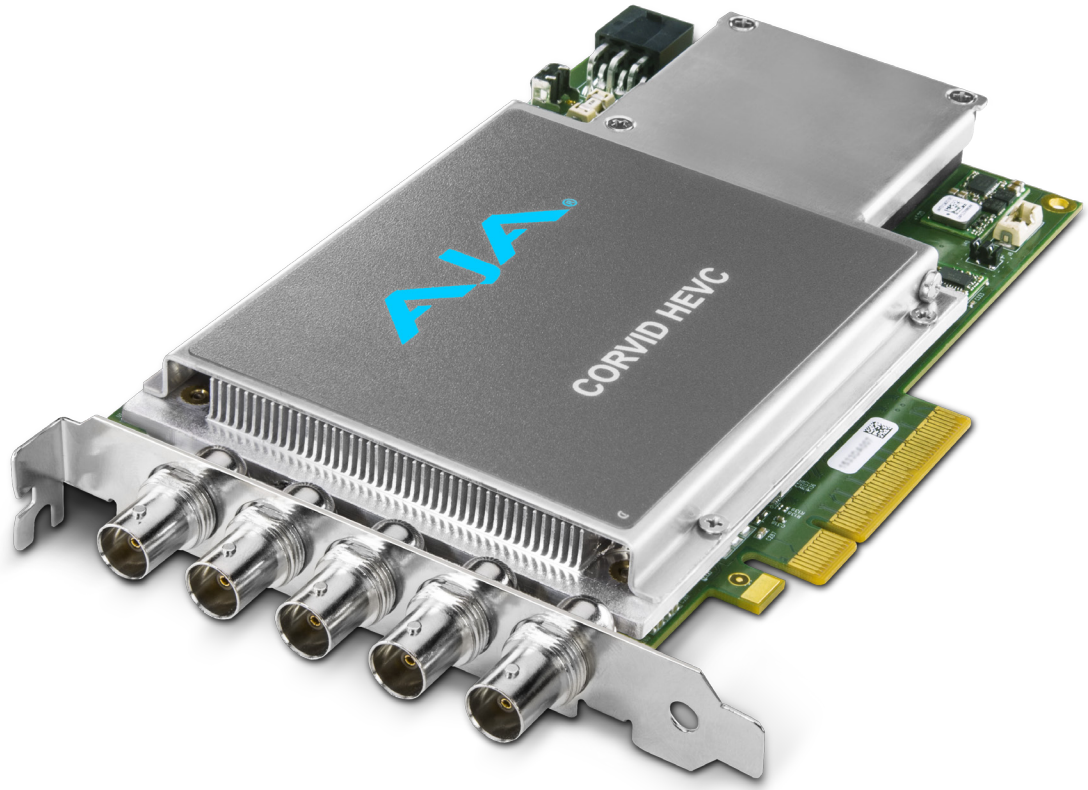
- 安全動作温度範囲: 0 °C ～ 35 °C (32 °F ～ 95 °F)
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-hb-r#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid HEVC

4 K、マルチチャンネル HEVC エンコーディング



Corvid HEVC

Corvid HEVC は、4K、1080p HD、低解像度に対応する、リアルタイムで低レイテンシー HEVC エンコーディングが可能な、8 レーンの PCIe 2.0 ビデオエンコーダーカードです。Developer パートナーは、AJA のパワフルな SDK を使用して、多用な用途に対応するフレキシブルな API を使用することにより、Windows や Linux のアプリケーションに Corvid HEVC を直接統合できます。

ワークフロー

- 4K/UltraHD エンコーディング
- マルチチャンネル独立エンコーディング
- ファイルからファイルへのエンコーディング

機能概要

- 4K/UltraHD/HD/SD に対応する HEVC ハードウェアベースのリアルタイムエンコーディング
- 8 レーンの PCIe 2.0 フルハイトカード
- 省電力
- HEVC Main と Main10 プロファイルに対応
- 4:2:0/4:2:2 8/10-bit に対応
- ストリーミングと配信に適切なビットレートに対応
- 対応する HEVC ストリーム
  - 60 fps までのシングル 4K/UltraHD ストリーム
  - 最高 60 fps の 1080p HD を最大 4 ストリーム
- 3G-SDI 入力 x 4
- LTC 入力 x 1
- ストリーム毎に 16 チャンネルのエンベデッドオーディオに対応
- ANC データに対応
- ファイルからファイルへのエンコーディングに対応
- AJA のパワフルな Windows/Linux 用クロスプラットフォーム NTV2 SDK を搭載
- AJA の充実した Developer プログラムパートナーサポート体制

Corvid HEVC 技術仕様

ビデオフォーマット

4K (4分割/サンプルインターリーブ)
- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B

2K (エンコード処理前に 1920 にクロップ)
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30

HD
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 720p 50, 50.94, 60

SD
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

メモ: これらのフォーマットは Corvid HEVC の SDI 入力で認識されます。

ファイルフォーマット

上記のビデオフォーマットに加え、これらのフォーマットはファイルベースのエンコーディングには対応していますが、SDI 入力としては認識されません。

- (HD) 720p 24, 25, 29.97
- (SD) 625p 50
- (SD) 525i 30
- (SD) 525p 59.94, 60

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI BNC x 4

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

圧縮

- タイプ
  - HEVC
- HEVC プロファイル
  - Main/Main 10
- HEVC Tier
  - Main/High
- HEVC レベル
  - 1.0/2.0/2.1/3.0/3.1/4.0/4.1/5.0/5.1
- 4K フォーマットのビットレート
  - 3 Mbps - 128 Mbps
- ビット深度
  - 8/10-bit
- クロマサンプリング
  - 4:2:2/4:2:0

ビットレート制御

- CBR/VBR

サイズ (w x d x h)

- 22.23mm x 190.5mm x 127mm (0.875" x 7.5" x 5")

電源

- グラフィックスロット経由の PCIe バス電源、またはコンピュータの電源ユニットからの ATX 6 ピン接続が必要

使用環境条件

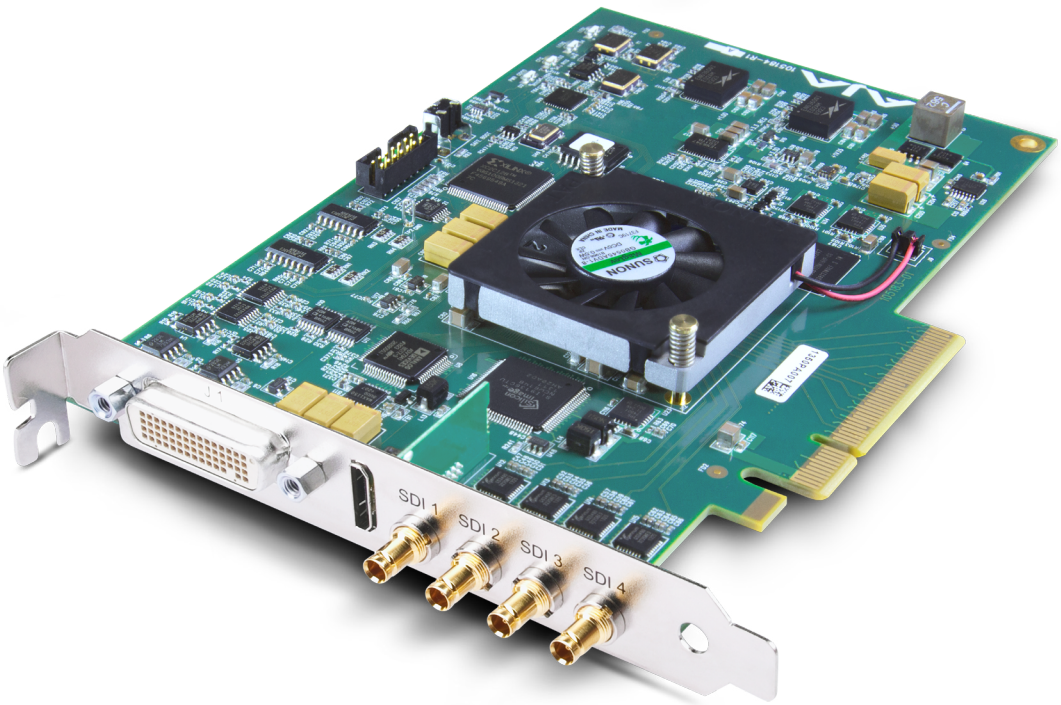
- 動作温度: 0 ˚C ～ 40 ˚C (32 ˚F ～ 104 ˚F)
- 相対湿度: 10 ～ 90% (結露しないこと)
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)
- 安全な保管温度 (電源オフ時): -40 ˚C ～ 70 ˚C (-40 ˚F ～ 158 ˚F)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-hevc#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

KONA 4

4K 50/60p まで対応する強力な高フレームレート処理能力と、編集、グラフィック、ライブストリーミング用のソフトウェアを統合



KONA 4

KONA 4 は、デスクトップ用のパワフルな 8レーン PCIe 2.0 ビデオ/オーディオ I/O カードで、SD、HD、2K、4K までのすべてをフル 10-bit 4:2:2/4:4:4 のカラースペースで処理し、すばらしく鮮明な画質を実現する、圧倒的な機能を搭載しています。将来性を見据えて設計されているため、標準的な HD や 2K に関する作業はもちろん、50/60 fps のフレームレートでもハードウェアを新しく追加することなく作業を行えます。4K 解像度の場合にも、必要に応じて簡単にモードを切り替えて使用することができます。KONA 4 は現在と将来のニーズに対応する性能を誇ります。

販売業者情報

機能概要

- 最高 60 fps のフレームレートで 4K および UltraHD のインジェストと出力に対応
- AJA Control Room を使用することで最高 120 fps の 4K AJA Raw のキャプチャに対応
- オリジナルの 10-bit 品質でのリアルタイムアップ/ダウン/クロスコンバージョン
- AJA の開発者用 SDK を通じて Mac、Windows、Linux に対応
- 10-bit 4K/UltraHD および 2K/Dual Link/HD/SD の入出力
- HDMI 1.4 出力 (UltraHD 50/60p 4:2:0 にも対応)
- 8 チャンネルの AES/EBU、8 チャンネルのエンベデッド HDMI、16 チャンネルのエンベデッド SDI デジタルオーディオ I/O
- 444 と 422 のワークフローに対応
- K3G-BOXブレイクアウトボックスオプションによる接続性の拡張

AJA Developer プログラム

KONA 4 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 50, 59.94, 60
- (4K) 4096 x 2160PsF 23.98, 24, 25
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 50, 59.94, 60
- (UltraHD) 3840 x 2160PsF 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1556p 15, 14.98
- (2K) 2048 x 1556PsF 15, 23.98, 24
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 23.98*, 24*, 25*, 29.97*, 30*, 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 23.98*, 29.97

*これらのフォーマットは、特定のソフトウェアの機能に依存するもので、通常の「オーバーザワイヤー」フォーマットではありません。

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI, SMPTE-259/292/296/424/425, 8-bit, 10-bit and 12-bit*
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- 2K HSDL (High Speed Data Link) 4:4:4、(BNC x 2)
- 4K/UltraHD 4:2:2/4:4:4、最高 50/60 fps
- 1D LUT サポート

*ビット深度への対応はアプリケーションに依存します。互換性についてはソフトウェアのメーカーにご確認ください。

デジタルビデオ出力

- 3G-SDI, SMPTE-259/292/296/424, 8-bit, 10-bit and 12-bit*
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- 2K HSDL (High Speed Data Link) 4:4:4、(BNC x 2)
- 4K/UltraHD 4:2:2/4:4:4、最高 50/60 fps
- HDMI 2.0 (UHD 50/60p 8-bit 4:2:0)

*ビット深度への対応はアプリケーションに依存します。互換性についてはソフトウェアのメーカーにご確認ください。

アナログビデオ出力

- コンポジット/S ビデオ (Y/C) (BNC x 1/BNC x 2 + アダプター)
- NTSC、NTSCJ、PAL
- コンポーネント (BNC x 3)
- HD: YPbPr, RGB
- SD: YPbPr、RGB (コンポーネントモード)
- SMPTE/EBU N10、Betacam 525 ライン、Betacam 525J、RGB
- 12-bit D/A、8 倍オーバーサンプリング
- Y 周波数応答: +/- 0.2 dB ～ 5.0 MHz
- C 周波数応答: +/- 0.2 dB ～ 1 MHz
- 2T パルスレスポンス: 5%
- 微分位相 (DP): 1% 未満
- 差動利得 (DG): 1% 未満
- Y/C ディレイ不均衡: 1ns 未満

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit AES/EBU オーディオ、48 kHz サンプルレート、同期/非同期、内部サンプルレート変換 (ブレイクアウトケーブルの BNC x 4 を使用)
- 16 チャンネル、24-bit AES/EBUオーディオ、48kHz サンプルレート、同期 (オプションの K3G-Box の BNC x 8 を使用)

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit HDMI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit AES/EBU オーディオ、48 kHz サンプルレート、同期/非同期、内部サンプルレート変換 (ブレイクアウトケーブルの BNC x 4 を使用)
- 16 チャンネル、24-bit AES/EBUオーディオ、48kHz サンプルレート、同期 (オプションの K3G-Box の BNC x 8 を使用)

ダウンストリームキーヤー

アルファチャンネル付き画像をビデオ/マット/フレームバッファに合成、またはフレームバッファコンテンツを入力された信号 (ビデオやマット) に合成

SD 間のアスペクト比を変換

- **レターボックス**: SD アナモフィック素材をレターボックス画像に変換
- **H クロップ:** 画像が水平方向に引き伸ばされ、アナモフィック SD をフルフレームに変換
- **SD ピラーボックス:** 画面中央に画像を配置し、両脇に黒枠を配置したアナモフィック画像を画面中央に表示
- **V クロップ:** SD レターボックス素材をアナモフィック画像に変換

タイムコード

- LTC タイムコード入出力 (それぞれ BNC を 1 つ使用)

マシンコントロール

- RS-422、Sony 9-pin プロトコル (ブレイクアウトケーブルまたはオプションの K3G-Boxを使用)
- 9-pin D コネクタのピン配列 (下表)

1	GND
2	RX-
3	TX+
4	GND
5	未接続
6	GND

7	RX+
8	TX-
9	GND
シェル	GND

リファレンス入力

- アナログブラックバースト (1V) またはコンポジットシンク (2V/4V)
- ルーピング
- オプションの K3G-Box で 75 Ω、同梱のブレイクアウトケーブルでターミネート

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/kona-4#techspecs をご覧ください。

KONA 4 技術仕様

外部寸法

- 19.05mm x 209.55mm x 127mm (0.75" x 8.25" x 5")

重量

- 0.4 kg (0.7 lb)

使用環境条件

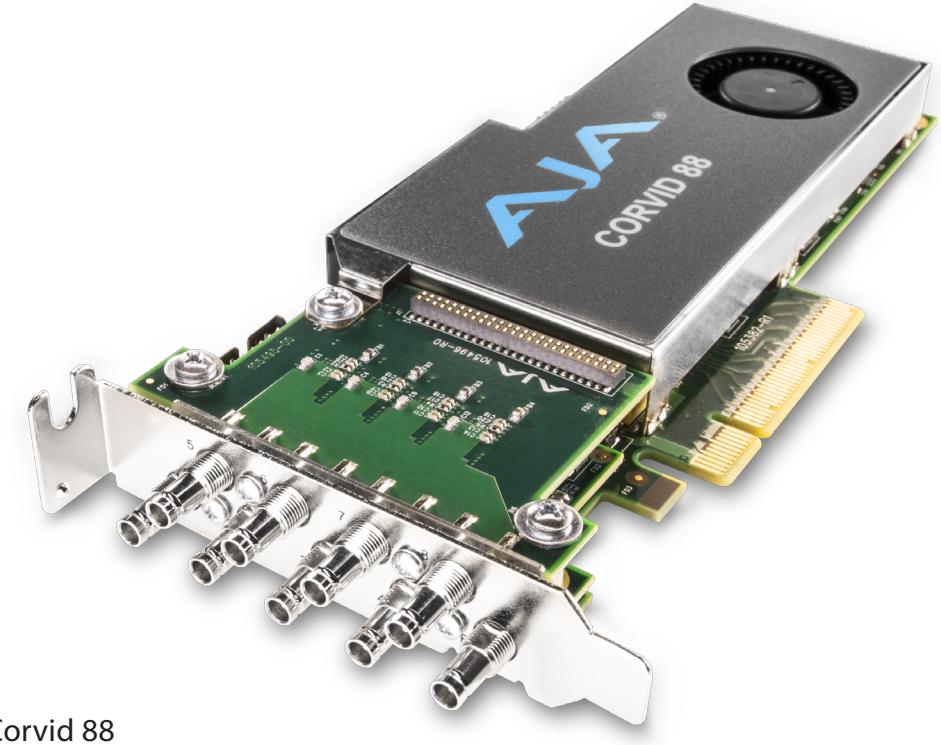
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/kona-4#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 88

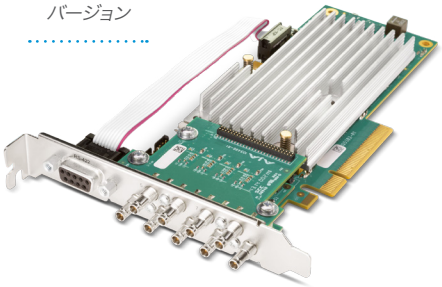
高密度のマルチストリームとマルチフォーマットに対応する PCIe 2.0 I/O カード



Corvid 88

Corvid 88 は、複数の同時入出力ストリームを必要とする Developer パートナーの用途を考慮して設計されたものです。Corvid 44 には 4 つの独立した BNC 接続があるのに対し、Corvid 88 には、1 枚のカードに合計 8 つの BNC 端子が装備されています。どのBNC も入力用または出力用として設定可能で、それぞれを異なるビデオフォーマットに対応させられます。どのフォーマットでも同一のクロックタイミングが使用されます。これにより、プレイアウトやインジェストサーバーなどの高密度 I/O を必要とする環境で最大の柔軟性を発揮します。また、接続をリンクさせてDual Link や 4K/UltraHD フォーマットに対応させることも可能です。

新しいファンレス バージョン



機能概要

- 最大 8 系統の独立チャンネル*: 3G、HD、3G-SDI I/O
- すべての 4K/2K/HD/SD ビデオ形式
- ハイフレームレート (HFR) に対応した 3G-SDI 入出力
- 8/10-bit YCbCr および 12-bit RGB のフレームバッファフォーマット
- 独立した 4 つのミキサー/キーヤーウィジェット
- 独立した 4 つの 16-Ch 48 kHz SDI エンベデッドオーディオ I/O エンジン
- 8レーンの PCIe 2.0 カード
- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク
- 3 年保証

* チャンネルでは、同じマスタークロックを使用する必要があります (29.97 や 59.94 など)。

プロセッシング

- 8 – フレームストア (入出力)
- 8 – カラースペースコンバーター
- 4 – ミキサー/キーヤーウィジェット
- 8 – 1D LUT
- 8 – Dual Link 入力
- 8 – Dual Link 出力
- 8 – 16 チャンネルのエンベデッドオーディオエンジン

Corvid 88 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 720p 50, 50.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

デジタルビデオ入出力

- 3G-SDI BNC x 8

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

サイズ (w x d x h)

- 22.23mm × 184.15mm × 123.83mm (0.875" x 7.25" x 4.875")

重量

- 0.2 kg (0.4 lb)

電源

- 17 W (通常)、19 W (最大)

使用環境条件

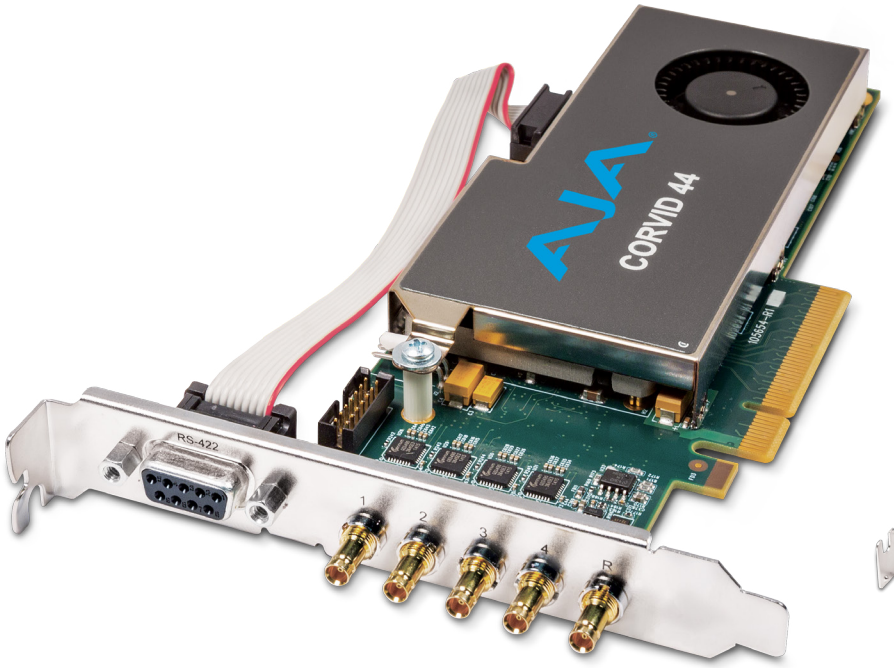
- ファンレスモデル用のエアフロー
  - 100LFM @ 25℃ 以下、ヒートシンク全体が 100LFM となるように、コンピューターのシャーシには、PCIe シールド (ヒートシンク側) に隣接する外部開口部が必要で、これを通じて通気する必要があります。
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-88#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 44

フレキシブルなマルチフォーマット I/O

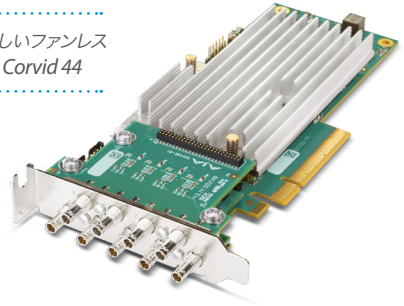


Corvid 44 ロープロファイル

Corvid 44

Corvid 44 を使用することにより、オーディオ/ビデオの I/O 能力が向上します。どの SDI 端子も個別に入出力を設定でき、最大 4 チャンネルの HD もしくは SD の異なるフォーマットを 1 枚のカードに混在させられます。より高い解像度へのニーズが高まっている現在において、SDI 接続を 1 つの 4K/UltraHD チャンネルに統合する機能は、優れた柔軟性と将来性をもたらします。

新しいファンレス Corvid 44



機能概要

- 最大 4 つの独立した* 双方向チャンネル
- ハイフレームレート (HFR) に対応した 3G-SDI 入出力
- すべての 4K/2K/HD/SD ビデオ形式
- 8/10-bit YCbCr および 12- bit RGB のフレームバッファフォーマット
- 独立した 2 つのミキサー/キーヤーウィジェット
- 独立した 4 つの 16-Ch 48 kHz SDI エンベデッドオーディオ I/O エンジン
- 切替可能な LTC/リファレンス入力接続
- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク
- 8 レーンの PCI 2.0 インターフェース
- フルハイト/ハーフハイトモデル
- 内部ヘッダー上またはブラケット上にRS-422 を搭載 (フルハイトモデル)
- 内部ヘッダー上に LTC 入力を搭載
- 3 年保証

* チャンネルでは、同じマスタークロックを使用する必要があります (29.97 や 59.94 など)。

プロセッシング

- 4 – フレームストア (入出力)
- 4 – カラースペースコンバーター
- 2 – ミキサー/キーヤーウィジェット
- 4 – 1D LUT
- 4 – Dual Link 入力
- 4 – Dual Link 出力
- 4 – 16-チャンネルのエンベデッドオーディオ

Corvid 44 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 720p 50, 50.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

デジタルビデオ入出力

- 3G-SDI 高密度 BNC x 4

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

サイズ (w x d x h)

- 22.23mm × 184.15mm × 123.83mm (0.875" x 7.25" x 4.875")

重量

- 0.2kg (0.4 lb)

電源

- 17 W (通常)、19 W (最大)

使用環境条件

- ファンレスモデル用のエアフロー
  - 100LFM @ 25℃ 以下、ヒートシンク全体が 100LFM となるように、コンピューターのシャーシには、PCIe シールド (ヒートシンク側) に隣接する外部開口部が必要で、これを通じて通気する必要があります。
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-44#techspecsをご覧ください。

Corvid 44 BNC

フレキシブルなマルチフォーマット I/O

Corvid 44 BNC

フルサイズの BNC 接続が使用可能になった Corvid 44 BNC では、オーディオ/ビデオ入出力への対応能力が拡大しています。どの SDI 端子も個別に入出力を設定でき、最大 4 チャンネルの HD もしくは SD の異なるフォーマットを 1 枚のカードに混在させられます。より高い解像度へのニーズが高まっている現在において、SDI 接続を 1 つの 4K/UltraHD チャンネルに統合する機能は、優れた柔軟性と将来性をもたらします。

機能概要

- 3G-SDI フルサイズ BNC コネクタ x 4
- 最大 4 つの独立した* 双方向チャンネル
- ハイフレームレート (HFR) に対応した 3G-SDI 入出力
- すべての 4K/2K/HD/SD ビデオ形式
- 8/10-bit YCbCr および 12-bit RGB のフレームバッファフォーマット
- 独立した 2 つのミキサー/キーヤーウィジェット
- 独立した 4 つの 16-Ch 48 kHz SDI エンベデッドオーディオ I/O エンジン
- 切替可能な LTC/リファレンス入力接続
- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク
- 8 レーンの PCI 2.0 インターフェース
- 内部ヘッダー上またはブラケット上にRS-422 を搭載 (フルハイトモデル)
- 内部ヘッダー上に LTC 入力を搭載
- 3 年保証

*チャンネルでは、同じマスタークロックを使用する必要があります *(29.97* や *59.94* など)。

プロセッシング

- 4 – フレームストア (入出力)
- 4 – カラースペースコンバーター
- 2 – ミキサー/キーヤーウィジェット
- 4 – 1D LUT
- 4 – Dual Link 入力
- 4 – Dual Link 出力
- 4 – 16-チャンネルのエンベデッドオーディオ

Corvid 44 BNC 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160P 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (UltraHD) 3840 x 2160P 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080P 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48 A/B, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50 A/B, 59.94 A/B, 60 A/B
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 720p 50, 50.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

デジタルビデオ入出力

- 3G-SDI フルサイズ BNC x 4

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

サイズ (w x d x h)

- 18.47mm × 167.65mm × 68.90mm (0.727" × 6.6" × 2.713")

重量

- 0.2 kg (0.4 lb)

電源

- 17 W (通常)、19 W (最大)

使用環境条件

- ファンレスモデル用のエアフロー
  - 100 LFM @ 25°C 以下、ヒートシンク全体が 100LFM となるように、コンピューターのシャーシには、PCIe シールド (ヒートシンク側) に隣接する外部開口部が必要で、これを通じて通気する必要があります。
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-44-bnc#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 24

8/10-bit に対応する 4 レーンの PCIe 2.0 カード
(シングル 4Kまたは独立した* 4 チャンネル I/O デジタル 3G-SDI I/O を搭載)

Corvid 24

Corvid 24 は、マルチチャンネルのビデオとオーディオの I/O を次の次元へと進化させます。Corvid 24 は、高密度 I/O のためのソリューションです。1 枚の PCIe カードで、独立した*最大 4 チャンネルのキャプチャもしくは個別LTC、24-bitエンベデッドオーディオ、メタデータ付きの出力に対応します。4 つの接続系統を使用することによってフル 4K I/O にも対応するため、極めて高い柔軟性も実現しています。また、複数のオペレーティングシステムにも対応するため、ほとんどの環境で使用することができます。

* チャンネルは、すべて同じフレームレート、ビデオ規格、フレーム形状である必要があります。

機能概要

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード
- 独立した 4 チャンネルの 3G-SDI I/O
- すべての 4K/2K/HD/SD ビデオ形式
- 1080p50/60、ビデオ/キー用 3G-SDI 入出力 (Dual Link には未対応)
- 8/10-bit YCbCr および RGB のフレームバッファフォーマット
- フェイルオーバーバイパス リレー、ウオッチドッグタイマー付き (2in/2out モード専用)
- 2 ミキサー/キーヤーウィジェット: これにより、3G-SDI で 2 つのビデオ/キーペアを同時に出力できます。また、最大 2 つのダウンストリームキーヤーを同時に実行できます。
- 独立した 4 つの 16-Ch 48 kHz SDI エンベデッドオーディオ I/O エンジン
- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク
- 3 年保証

Corvid 24 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25
- (UltraHD) 3820 x 2160PsF 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 525i 29.97
- (SD) 625i 25

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI
- SMPTE-259/292/296/424

デジタルビデオ出力

- 3G-SDI
- SMPTE-259/292/296/424

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

リファレンス

- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク

サイズ (w x d x h)

- 18mm x 167mm x 98mm (0.708" x 6.57" x 3.86")

重量

- 1.8cm x 16.7cm x 9.8cm

電源

- 12 W (通常)、15 W (最大)

使用環境条件

- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ブレイクアウトケーブル

- LTC 1 入力
- LTC 2 入力
- LTC 1 出力
- LTC 2 出力
- RS-422 チャンネル 1
- RS-422 チャンネル 2

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid24#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 22

8/10-bit 非圧縮に対応する 4 レーンの PCIe 2.0 カード
(独立した 2チャンネル I/O デジタル 3G-SDI I/O を搭載)

Corvid 22

省スペースで複数の I/O チャンネルに対応する Corvid 22 は、1 枚の PCIe カードに、高い処理能力、デュアルチャンネルビデオ、24-bit エンベデッドオーディオ I/O を搭載しています。2 つの完全に独立したチャンネルは、最高 2K の高フレームレート 1080p の解像度を処理できます。Corvid 22 では、チャンネルごとに LTC と RS-422 マシン制御が行われ、複数のオペレーティングシステムにも対応するため、ユーザーが必要とする性能と機能がすべて実現します。

機能概要

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード
- 2 チャンネルの 3G-SDI 入力、2 チャンネルの 3G-SDI 出力
- 2K/HD/SD の全ビデオフォーマットに対応
- 1080p50/60、ビデオ/キー用 3G-SDI 入出力 (Dual Link には未対応)
- 8/10-bit YCbCr および RGB のフレームバッファフォーマット
- 2 ミキサー/キーヤーウィジェット: これにより、3G-SDI で 2 つのビデオ/キーペアを同時に出力できます。また、最大 2 つのダウンストリームキーヤーを同時に実行できます。
- 独立した 2 つの 16 チャンネル 48 kHz SDI エンベデッドオーディオ I/O エンジン
- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク
- 3 年保証

Corvid 22 技術仕様

ビデオフォーマット

- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080psF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424

デジタルビデオ出力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

リファレンス

- アナログカラーブラックまたは HD 3 値シンク

出力制御 (タイミング/アラインメント)

- (3G) .45 UI/.17UI
- (HD) .21 UI/.08 UI
- (SD) .2 UI/.2 U

タイムコード

- 独立した LTC 入出力

マシンコード

- 独立した RS-422

サイズ (w x d x h)

- 18mm x 167mm x 98mm (0.708" x 6.57" x 3.86")

電源

- 12 W (通常)、15 W (最大)

使用環境条件

- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ブレイクアウトケーブル

- LTC 1 入力
- LTC 2 入力
- LTC 1 出力
- LTC 2 出力

- RS422 チャンネル 1
- RS422 チャンネル 2

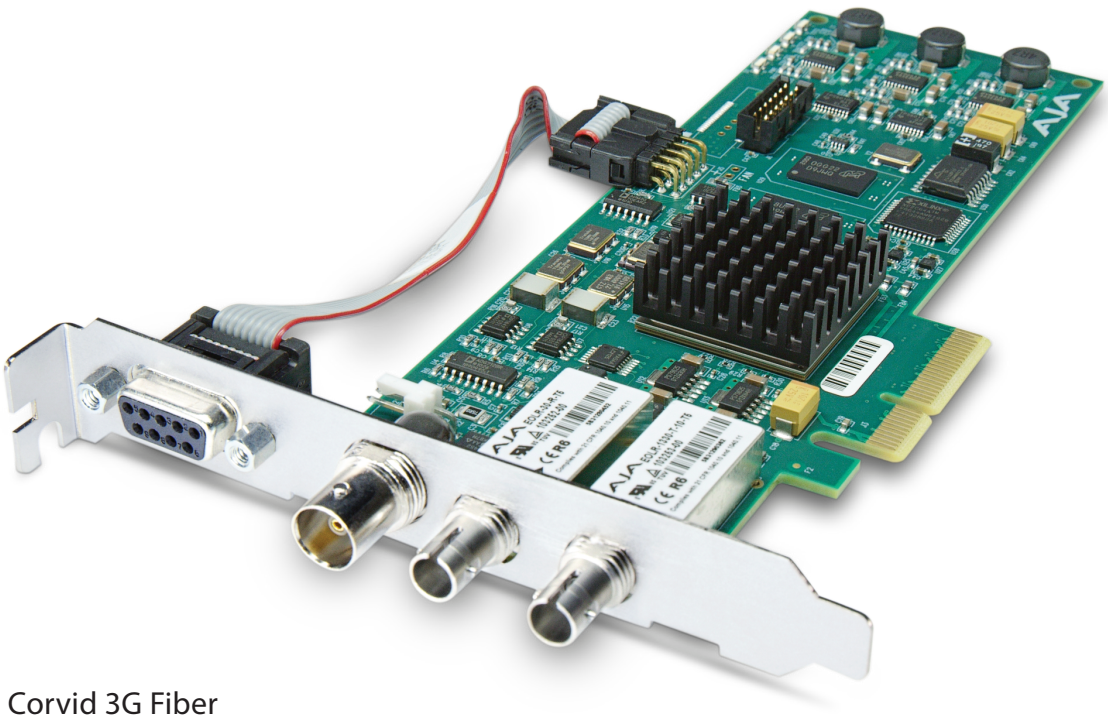
その他の情報
- 独立した 2 つの LTC 入出力
- 独立した 2 つの RS-422

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid22#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 3G Fiber

ファイバー I/O 経由の 8/10-bit 非圧縮デジタル 3G-SDI に対応する、
4 レーンの PCIe 2.0 カード

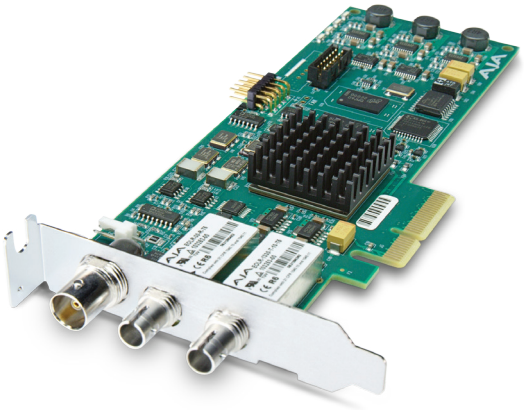


機能概要

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード
- ファイバー ST コネクタでの 1 チャンネルの 3G-SDI 入出力
- 8/10-bit YCbCr および RGB のフレームバッファフォーマット
- 1 ミキサー/キーヤー
- 標準 PCIe (Corvid 3G Fiber) またはロープロファイル (Corvid 3G Fiber LP) を選択可能
- 16 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ I/O、24-bit 48 kHz
- HD/SD ゲンロック、リファレンスビデオ、LTC 入力に対応 (選択可能)
- 3 年保証

Corvid 3G Fiber

長いケーブルが必要な設置環境では、光ファイバーが最適なソリューションとなります。AJA の Corvid 3G Fiber は、SDI 間の変換を必要とすることなく、ファイバーインフラストラクチャへの直接的な入出力接続を可能にします。標準サイズの PCIe カードに加え、スペースを重視する環境ではロープロファイルも選択できます。複数のオペレーティングシステムにも対応する Corvid 3G Fiber は、長距離接続にとって最適なソリューションです。



Corvid 3G Fiber ロープロファイル

Corvid 3G Fiber 技術仕様

ビデオフォーマット

- (2K) 2048 x 1080p 23.97, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.97, 24, 26
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 26, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 525i 29.97
- (SD) 625i 25

デジタルビデオ入力

- ST ファイバーコネクタを使用して 3G/HD/3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424 に対応

デジタルビデオ出力

- ST ファイバーコネクタを使用して 3G/HD/3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424 に対応

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

リファレンス

- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク

サイズ (w d x h)

- 14mm x 168mm x 55mm (0.55" x 6.61" x 2.16")

使用環境条件

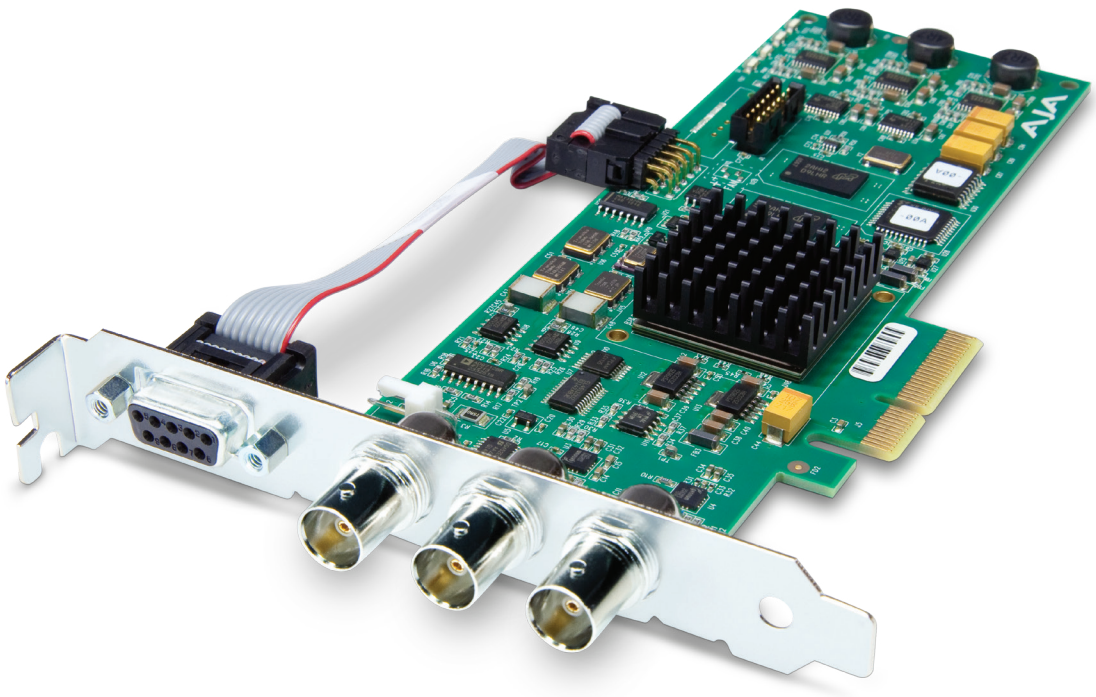
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-3g-fiber#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid 3G

8/10-bit 非圧縮デジタル 3G-SDI I/O に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード

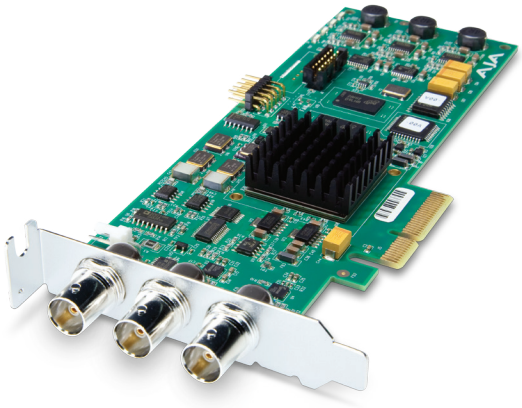


機能概要

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード
- 1 チャンネルの 3G-SDI 入力、1 チャンネルの 3G-SDI 出力
- 8/10-bit YCbCr および RGB のフレームバッファフォーマット
- 1 ミキサー/キーヤー
- 標準 PCIe (Corvid 3G) またはロープロファイル (Corvid 3G LP) を選択可能
- 16 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ I/O、24-bit 48 kHz
- HD/SD ゲンロック、リファレンスビデオ、LTC 入力に対応 (選択可能)
- 3 年保証

Corvid 3G

Corvid 3G は、オリジナルの Corvid の機能拡張バージョンで、Corvid カードの全機能を使用できるだけでなく 3G-SDI シグナルにも対応するため、さらに高度な信号処理が可能になります。標準サイズの PCIe カードに加え、スペースを重視する環境でロープロファイルも選択できる Corvid 3G は、より要求の厳しい状況にも応える強力な性能を備えています。



Corvid 3G ロープロファイル

Corvid 3G 技術仕様

ビデオフォーマット

- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

デジタルビデオ入力

- 3G/HD/3G-SDI, SMPTE-259/292/296/424

デジタルビデオ出力

- 3G/HD/3G-SDI, SMPTE-259/292/296/424

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

リファレンス

- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク

サイズ (W x D x H)

- 14mm x 168mm x 55mm (0.55" x 6.61" x 2.16")

使用環境条件

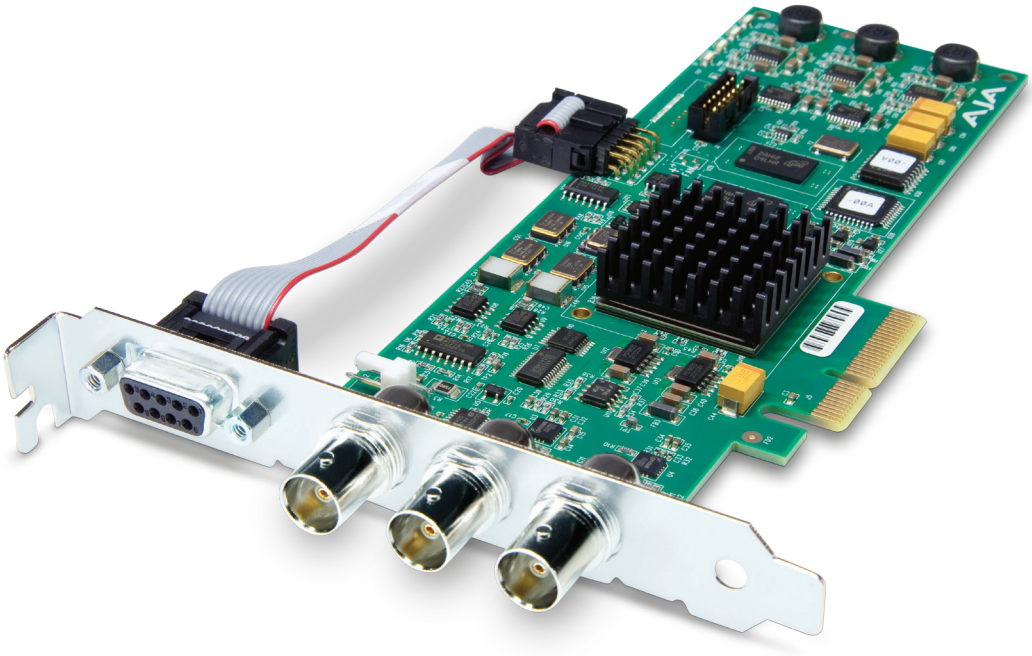
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid3g#techspecsをご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid

8/10-bit 非圧縮デジタル SD/HD の I/O に対応する、4 レーンの PCIe 2.0 カード

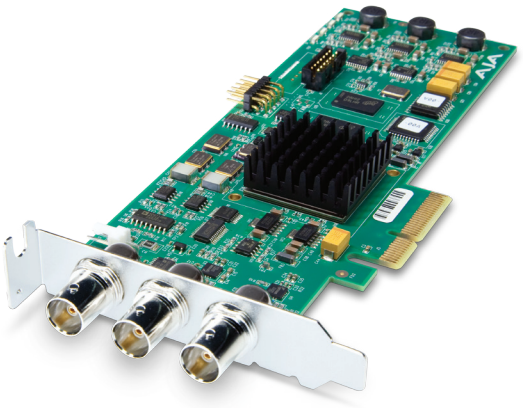


機能概要

- 4 レーンの PCIe 2.0 カード
- 1 チャンネルの 3G-SDI 入力、1 チャンネルの 3G-SDI 出力
- 8/10-bit YCbCr および RGB のフレームバッファフォーマット
- 1 ミキサー/キーヤー
- 標準 PCIe (Corvid) またはロープロファイル (Corvid LP) を選択可能
- 16 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ I/O、24-bit 48 kHz
- HD/SD ゲンロック、リファレンスビデオ、LTC 入力に対応 (選択可能)
- 3 年保証

Corvid

AJA の Corvid カードを使用すると、アプリケーションに最高品質の信号を確実に入出力できます。Corvid は、デジタル非圧縮ビデオやオーディオ I/O に最適なプラットフォームで、SD、HD、16 チャンネルの 24-bit エンベデッドオーディオに対応します。標準サイズの PCIe カードに加え、スペースを重視する環境でロープロファイルも選択できる Corvid には、複数のオペレーティングシステムに対応する AJA の共通 API が採用されています。



Corvid ロープロファイル

Corvid 技術仕様

ビデオフォーマット

- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 525i 29.97
- (SD) 625i 25

デジタルビデオ入力

- HD-SDI/SDI, SMPTE-259/292/296

デジタルビデオ出力

- HD-SDI/SDI, SMPTE-259/292/296

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期

タイムコード

- 独立した LTC 入出力

マシンコード

- 独立した RS-422

リファレンス

- アナログブラックバーストまたは HD 3 値シンク

サイズ (w x d x h)

- 14mm x 168mm x 55mm (0.55" x 6.61" x 2.16")

使用環境条件

- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Corvid Ultra

4K 対応外部 2RU シャーシ (PCIe 2.0 付属)、ステレオスコピック、高フレームレート、高帯域用途

Corvid Ultra のフロントパネル
PCIe HBA

機能概要

- 広範な I/O: 3G-SDI、4K HDMI 出力、エンベデッドオーディオ、AES オーディオ (2 チャンネルのアナログオーディオモニタリング)
- 最高 60 フレーム/秒の SD ～ 4K フォーマットに対応
- フルカラースペース変換による最高 16-bit のハーフフロート RGBA 色深度
- Raw ワークフローに対応する強力なディベイヤーを搭載
- 高品質な AJA TruScale™ が、あらゆる解像度で完璧な品質を保証
- I/O の追加用や処理用に 2 基の 4K 拡張スロットを搭載
- 8 レーンの高速 PCIe 2.0 ホスト接続により、各接続で 2500 MB/秒超を実現
- DMA経由のピアツーピア転送に対応
- 2RU のフォームファクター

Corvid Ultra のリアパネル
オプションの *TruScale™* を装着

Corvid Ultra

AJA のパートナーは、Corvid Ultra によって数多くの画期的な機能を利用できるようになります。48p や 60p の高フレームレート映像素材を扱う場合でも、フル解像度の 4K やステレオスコピックファイルの作業を行う場合でも、AJA TruScale™ の任意スケール機能、ディベイヤーへの標準対応、拡張可能な 2 基のカードベイを利用することにより、極めて要求の厳しい状況においても、Corvid Ultra を調整して最高のパフォーマンスと最高の品質を実現することができます。

TruScale™ (オプション)

TruScale™

AJA の TruScale 技術により、任意のイメージスケーリングを高品質に処理可能です。一般的なスケーリング技術は、特定の解像度を変換することに焦点を当てていますが、高度な AJA の技術を採用した TruScale は、解像度の低いウェブビデオから 5K の解像度まで、あらゆるサイズのラスターを処理することができ、可能な限り最高の品質を維持しながら、目的の解像度にスケール処理します。

TruScale は、Corvid Ultra の出荷時組み込み型のオプションで、独立した 2 チャンネルの高品質スケーリングをCorvid Ultra の他の機能と組み合わせて使用可能です。

AJA Developer プログラム

Corvid Ultra 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48, 50, 59.94, 60
- (UltraHD) 3840 x 2160p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 48, 50, 59.94, 60
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 60
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 50.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

ピクセル形式

8-bit
- YCbCr 4:2:2
- RGB
- RGBA

10-bit
- YCbCr 4:2:2
- RGB
- RGBA

12-bit
YCbCr 4:2:2
RGB
RGBA
XYZ
XYZA

16-bit
RGB

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424、8-bit または 10-bit
- 4K/UltraHD 4:4:4 (BNC x 4)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- Canon C500 Raw データ

デジタルビデオ出力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424、8-bit または 10-bit
- 4K/UltraHD 4:4:4 (BNC x 4)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- HDMI v2.0b, 30/36-bit/ピクセル、RGB/YUV、2.25 Gbps、SD、HD、1080p-50/60、4K、2K ステレオスコピック (フルサイズ HDMI)

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期
- 16 チャンネルの 24-bit AES/EBU、48 kHz 同期 (BNC x 8)

アナログオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期
- 16 チャンネルの 24-bit AES/EBU、48 kHz 同期 (BNC x 8)

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッド、48kHz 同期
- 16 チャンネルの 24-bit AES/EBU、48 kHz 同期 (BNC x 8)

アナログオーディオ出力

- 2チャンネルのアンバランス出力 (RCA x 2)

リファレンス

- アナログリファレンス入力 (BNC)
- アナログリファレンス出力、ループスルー (BNC)

タイムコード

- LTC タイムコード入出力 (それぞれ BNC を 1 つ使用)

マシンコントロール

- RS-422、Sony 9-pin プロトコル
- 9-pin D コネクタのピン配列 (下表)

1	GND
2	RX-
3	TX+
4	GND
5	未接続
6	GND
7	RX+
8	TX-
9	GND
シェル	GND

ホスト接続

- 8レーンの PCIe 2.0 カード
- 3 メーターの相互接続ケーブル
- 2500 MB/秒以上 (双方向)

拡張スロット

- AJA TruScale™ オプションカードに対応

プロセッシング

- キャプチャフレームストア x 4
- 再生フレームストア x 4
- カラースペースコンバーター x 8 (高精度)
- 1D LUT x 4 (12-bit)
- ディベイヤーウィジェット x 4

オプションの任意スケーラー

- ある解像度、アスペクト比のイメージを任意の解像度やアスペクト比へ高品質なスケーリング
- 標準フォーマット以外にも対応
- リアルタイムパフォーマンスを向上させる TruScale™ ハードウェアオプションカード
- パンやスキャンに対するキーフレームベースの制御

サイズ (w x d x h)

- 438mm x 295mm x 85.7mm 2RU (17.25" x 11.625" x 3.375")

メモ: 標準の *19* インチラックに対応

使用環境条件

- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

ここをクリック 製品仕様の詳細については、www.aja.com/en/products/developer/corvid-ultra#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Io® 4K

Thunderbolt™ 2 のパワーを活かした 4K、HD、SD の処理

THUNDERBOLT™

Io 4K

Io 4K は、最新の 4K や UltraHD デバイスに対応し、プロフェッショナル向けのあらゆるビデオ/オーディオ接続機能を備えた、最先端のキャプチャ/出力デバイスです。強力な Thunderbolt 2 により、Io 4K はマルチチャンネルの SD や HD から UltraHD や フル 4K まで、広範囲のフォーマットを扱うことが可能です。SDI 越しでも HDMI 越しでも最大 60 fps のハイフレームレートに対応しています。Io 4K 上の 2 基の Thunderbolt 2 ポートを使用して、高解像度ディスプレイや大容量ストレージなどの周辺機器を柔軟にデイジーチェーンで追加することができます。

アルミニウム製で洗練されたフォルムの Io 4K は、現場の過酷な環境にも耐える堅牢さと、作業環境にとけ込む美しさをデスクトップにもたらします。強力なパワーと機能を備えた Io 4K は、高品質なマルチチャンネルや 4K I/O を扱うアプリケーションに簡単に統合することができます。

販売業者情報

機能概要

- 双方向 3G-SDI x 4
- 4K/UltraHD HDMI I/O
- SDI と HDMI の同時出力
- HD-SDI/HDMI モニターに対応する、4K から HD へのリアルタイムなダウンコンバージョン
- 10-bit の高品質 4:2:2/4:4:4、高フレームレートのワークフローに対応
- Thunderbolt 2 ポート x 2 (ループスルー対応)
- あらゆる Thunderbolt 2 対応システムで使用可能 (10-bit の 50/60 fps で 4K まで対応)
- 既存の Thunderbolt ホストと下位互換
- SDI では 16 チャンネルのエンベデッドオーディオ
- HDMI では 8 チャンネルのエンベデッドオーディオ
- DB-25 アナログオーディオ出力コネクタ
- バッテリーまたは AC による XLR 12V 電源
- RS-422 VTR 制御、リファレンス、LTC 入力
- モバイル環境用のヘッドフォンジャックとレベル制御

AJA Developer プログラム

Io® 4K 技術仕様

ビデオフォーマット

- (4K) 4096 x 2160P 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (4K) 4096 x 2160PsF 23.98, 24, 25
- (UltraHD) 3840 x 2160P 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (UltraHD) 3840 x 2160PsF 23.98, 24, 25
- (2K) 2048 x 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (2K) 2048 x 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080i 50, 59.94, 60
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 29.97

注 : 高フレームレートへの対応は *Thunderbolt* の速度に依存します。すべてのシステムがすべてのフレームレートに対応するわけではありません。

ビデオ入力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424/425、8-bit、10-bit、12-bit*
- 4K/UltraHD 4:4:4 (BNC x 4)
- 2K HSDL (高速データリンク) 4:4:4 (BNC x 2)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- HDMI v1.4
  - 30/36 bits/ピクセル、RGB/YUV、2.25 Gbps.
  - UltraHD、2K、HD、SD

*ビット深度への対応はアプリケーションに依存します。互換性についてはソフトウェアのメーカーにご確認ください。

ビデオ出力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424/425、8-bit、10-bit、12-bit*
- 4K/UltraHD 4:4:4 (BNC x 4)
- 2K HSDL (高速データリンク) 4:4:4 (BNC x 2)
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- HDMI v1.4
  - 30/36-bit/ピクセル、RGB/YUV、2.25 Gbps
  - 2K、HD、SD、UltraHD (最大 60p 4:2:0 の高フレームレートに対応)

*ビット深度への対応はアプリケーションに依存します。互換性についてはソフトウェアのメーカーにご確認ください。

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit HDMI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit HDMI エンベデッドオーディオ、48kHz サンプルレート、同期

アナログオーディオ出力

- 8 チャンネル、24-bit D/A アナログオーディオ、48kHz サンプルレート、バランス (DB-25 ブレイクアウトケーブルの XLR x 8 を使用)
- +24dbu フルスケールデジタル (0dbFS)
- 周波数応答: +/- 0.2db 20 Hz ～ 20kHz

ダウンストリームキーヤー

- アルファチャンネル付き画像をビデオ/マット/フレームバッファに合成、またはフレームバッファのコンテンツを、入力信号 (ビデオやマット) に合成

ダウンコンバージョン (4K/UltraHD)

- リアルタイム、専用の 4K ダウンコンバージョン出力 (BNC x 1)
- 4K → 2K ダウンコンバージョン
- UltraHD → HD ダウンコンバージョン

リファレンスと LTC I/O

- BNC LTC 出力 x 1
- BNC x 1 (リファレンスビデオまたは LTC 入力に割り当て可能)

リファレンス

- アナログブラックバースト (1V) またはコンポジットシンク (2V/4V)
- ターミネート不要

ユーザーインターフェース

- インターフェース: Thunderbolt 2 ポート x 2

サイズ (W x D x H)

- 222mm x 180mm x 42mm (8.74" x 7.09" x 1.65")

電源

- 電源: 10-20 V、23 W (通常)、28 W (最大)

使用環境条件

- 安全動作温度範囲: 0 °C ～ 35 °C (32 °F ～ 95 °F)
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

マシンコントロール

- RS-422、Sony 9-pin プロトコル
- 9-pin D コネクタのピン配列 (下表)

1	GND
2	RX-
3	TX+
4	GND
5	未接続
6	GND
7	RX+
8	TX-
9	GND
シェル	GND

ここをクリック 最新の製品仕様については、www.aja.com/en/products/io-4k#techspecs をご覧ください。

AJA Developer プログラム

Io® XT

プロフェッショナルな I/O に対応する Thunderbolt™ パワー

Io XT

Io XT は、プロのポストプロダクションやオンセットで使用する際、高速なビデオキャプチャやプレイバックが行える理想的なポータブル機器です。コンパクト、ポータブル、パワフルな Io XT は、3G-SDI、コンポーネントアナログ、HDMI などのハイエンド接続機能を備えており、あらゆる Thunderbolt 対応システムにデスクトップ並のパワーをもたらし、完全非圧縮 HD/SD 4:2:2/4:4:4 ビデオとオーディオの接続に対応します。

Io XT は 1 本の Thunderbolt ケーブルで接続しますが、ストレージなどの他の Thunderbolt デバイスをデイジーチェーン接続するための 2 つ目の Thunderbolt コネクタがあるため、オンセットや編集環境での使用に最適です。

また、最新のワークフロー向けに設計されているため、最新のコーデック、ビデオフォーマット、ステレオスコピック 3D ワークフローなどのアプリケーションに、シームレスに統合できます。

販売業者情報

機能概要

- 3G-SDI 入力 x 2
- 3G-SDI 出力 x 2
- SDI と HDMI の同時出力
- コンポーネントアナログビデオ出力
- 10-bit の高品質 4:2:2/4:4:4 ワークフローに対応
- Thunderbolt ポート x 2 (ループ スルー対応)
- SDI では 16 チャンネルのエンベデッドオーディオ
- HDMI では 8 チャンネルのエンベデッドオーディオ
- DB-25 アナログオーディオ出力コネクタ
- バッテリーまたは AC による XLR 12V 電源
- RS-422 VTR 制御、リファレンス、LTC 入力
- モバイル環境用のヘッドフォンジャックとレベル制御

AJA Developer プログラム

Io® XT 技術仕様

ビデオフォーマット

- (2K) 1080p 23.98, 24, 25
- (2K) 1080PsF 23.98, 24, 25
- (HD) 1080i 25, 29.97, 30
- (HD) 1080PsF 23.98, 24, 25, 29.97, 30
- (HD) 1080p 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94, 60
- (HD) 720p 23.98*, 24*, 25*, 29.97*, 30*, 50, 59.94, 60
- (SD) 625i 25
- (SD) 525i 23.98*, 29.97

*これらのフォーマットは各ソフトウェアの機能に依存し、通常の「オーバーザワイヤー」フォーマットとは異なります。

ソフトウェア依存のフォーマット

これらの形式は各ソフトウェアの機能に依存しており、通常の「オーバーザワイヤー」フォーマットとは異なります。

- 720p 23.98, 24, 25, 29.97, 30

デジタルビデオ入力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424、10-bits
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (3G BNC x 1)
- HDMI v1.3
- 1D LUT に対応 (Mac および PC)

デジタルビデオ出力

- 3G-SDI、SMPTE-259/292/296/424
- Dual Link HD 4:4:4 (BNC x 2)
- Single Link 4:2:2 または 4:4:4 (BNC x 1)
- HDMI v1.4、30/36-bit/ピクセル、RGB/YUV、2.25Gbps

アナログビデオ出力

- コンポジット/S ビデオ (Y/C) (BNC x 1/BNC x 2 + アダプター)
- NTSC、NTSCJ、PAL
- コンポーネント (BNC x 3)
- HD: YPbPr, RGB
- SD: YPbPr、RGB (コンポーネントモード)
- SMPTE/EBU N10、Betacam 525 ライン、Betacam 525J、RGB
- 12-bit D/A、8 倍オーバーサンプリング
- Y 周波数応答: 5.0 MHz +/- 0.2 dB
- C 周波数応答: 1 MHz +/- 0.2 dB
- 2T パルスレスポンス: 0.5%
- 微分位相 (DP): 1% 未満
- 差動利得 (DG): 1% 未満
- Y/C ディレイ不均衡: 1ns 未満

デジタルオーディオ入力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48 kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit HDMI エンベデッドオーディオ、48 kHz サンプルレート、同期

デジタルオーディオ出力

- 16 チャンネル、24-bit SDI エンベデッドオーディオ、48 kHz サンプルレート、同期
- 8 チャンネル、24-bit HDMI エンベデッドオーディオ、48 kHz サンプルレート、同期

アナログオーディオ出力

- 8 チャンネル、24-bit D/A アナログオーディオ、48 kHz、バランス (DB-25 ブレイクアウトケーブルの XLR x 8 を使用)
- +18 dBu フルスケールデジタル (0 dBFS)
- 周波数応答: 20 Hz ～ 20 kHz +/- 0.2 dB

ダウンストリームキーヤー

- アルファチャンネル付き画像をビデオ/マット/フレームバッファに合成、またはフレームバッファのコンテンツを、入力信号 (ビデオやマット) に合成

アップコンバージョン

- ハードウェア 10-bit
- **アナモルフィック:** フルスクリーン
- **ピラーボックス 4:3:** 画面中央に 4:3 の画像、両脇に黒帯
- **ズーム 14:9:** 4:3 画像を僅かに拡大し、両脇に黒帯を付けた14:9画像
- **ズームレターボックス:** フルスクリーンに合わせてズームした画像
- **ズームワイド:** 拡大と水平方向の引き延ばしを組み合わせ16:9のスクリーン全体を埋めるようにした画像。アスペクト比が若干変わる場合があります。

ダウンコンバージョン

- ハードウェア 10-bit
- **アナモルフィック:** フルスクリーン
- **レターボックス:** 画像領域の上下に黒帯が追加され画像サイズが縮小、アスペクト比は固定
- **クロップ:** 対象の画面サイズに合わせて、画像を切り取り

クロスコンバージョン

ハードウェア 10-bit

- 1080i → 720p
- 720p → 1080i
- 720p → 1080PsF

電源

- 10-20 V、18 W (通常)、22 W (最大)

使用環境条件

- 安全動作温度範囲: 0 ℃ ～ 40 ℃ (32 ℉ ～ 104 ℉)
- 高度: 3,000 メートル未満 (10,000 フィート未満)

SD 間のアスペクト比を変換

- **レターボックス:** SD アナモフィック素材をレターボックス画像に変換
- **H クロップ:** 画像が水平方向に引き伸ばされ、アナモフィック SD をフルフレームに変換
- **SD ピラーボックス:** 画面中央に画像を配置し、両脇に黒枠を配置したアナモフィック画像を画面中央に表示
- **V クロップ：** SD レターボックス素材をアナモフィック画像に変形

リファレンス入力または LTC 入力

- BNC x 1 (リファレンスビデオまたは LTC 入力に割り当て可能)

リファレンス

- アナログカラーブラック (1V) またはコンポジットシンク (2V または 4V)
- ターミネート不要

マシンコントロール

- RS-422、Sony 9-pin プロトコル (ブレイクアウトケーブルまたはオプションの K3G-Boxを使用)
- 9-pin D コネクタのピン配列 (下表)

1	GND
2	RX-
3	TX+
4	GND
5	未接続
6	GND
7	RX+
8	TX-
9	GND
シェル	GND

ここをクリック 最新の製品仕様については、www.aja.com/en/products/io-xt#techspecs をご覧ください。

3 年間の保証

Developer 製品については、購入日から 3 年間にわたって
材質上および製造上の欠陥がないことを保証します。

AJA Video Systems, Inc. について

1993 年の設立以来、AJA Video はビデオインターフェースや
変換ソリューションの主要メーカーとして、高品質でコスト
効率の高いデジタルビデオ製品を、プロフェッショナル、放送、
ポストプロダクション市場向けに提供してきました。
AJA 製品はカリフォルニア州グラスバレーの当社施設において
設計および製造され、世界各国に広がる販売業者やシステムイ
ンテグレーター網を通じて販売されています。
詳細については、AJA のホームページ (www.aja.com/jp) を
ご覧ください。

AJA Video Systems, Inc.
カリフォルニア州グラスバレー
www.aja.com • sales@aja.com • support@aja.com

AJA VIDEO SYSTEMS